

大阪で講習会 近畿会員参加

信書便協会

全国の特定信書便事業者で構成する信書便事業者協会（会長＝伊東博KDDIエボルバ社長）は十五日、会員のコンプライアンス（法令順守）徹底、安心・安全・確実な信書送達を図る講習会を大阪市で開催。近畿ブロックの会員らが参加した。

冒頭、高橋泉副会長は一月の一般社団法人移行について会員や関係者に感謝を表明。「信書便事業を通じて社会の役に立てるよう取り組みたい」とあいさつ。講習は二部構成で行われ、総務省信書便事業課の新蔵健一郎

課長補佐と近畿総合通信局が講師を担当した。

同協会の笠松利紀理事は信書便制度を活用し業績伸長につなげた取り組みを報告。会員からは周知活動や日常業務に対する質問や相談が寄せられたという。次回講習会は五月に九州で開催する。

同協会は一月末、都内で一般社団移行後初となる理事会を開催。平成二十五年度の活動大綱案などを審議した。昨年開始した講習会の全国開催や、行政関係の申請や手続きについての会員向け手引書を協会独自で作成することなどを承認。地方組織の構築などをテーマに意見交換を行った。

（水谷 周平）